

2024年3月期第2四半期 決算説明資料

2023年11月6日

三信電気株式会社

代表取締役 社長執行役員(COO) 鈴木俊郎

エレクトロニクスの総合商社としてお客様のベストパートナーを
モットーにデバイス事業とソリューション事業を展開しております。

デバイス事業

~幅広い製品ラインナップで多様なニーズに対応~

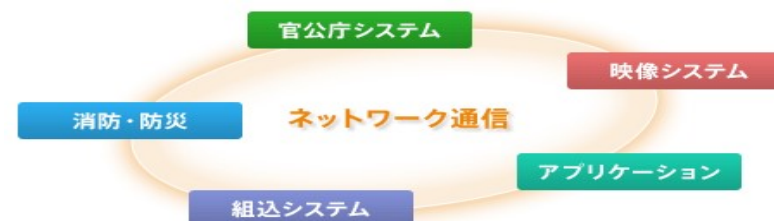
国内外大手の半導体／電子部品メーカーのほか、優れた製品開発を行っている新興メーカーまで幅広く取り扱っております。マーケットニーズが多様化する今日、充実したラインナップときめの細かい国内外販売体制でお客様のご要望にお応えしております。



ソリューション事業

~ICTでつなぐ社会インフラの創造~

情報通信ネットワークを核に、お客様のニーズに最適なシステムの提案や構築を行っております。また、導入後のサポートメニューも含め一括したサービスで、お客様に安心・安全なインフラをご提供いたします。



I . 2024年3月期第2四半期業績概要

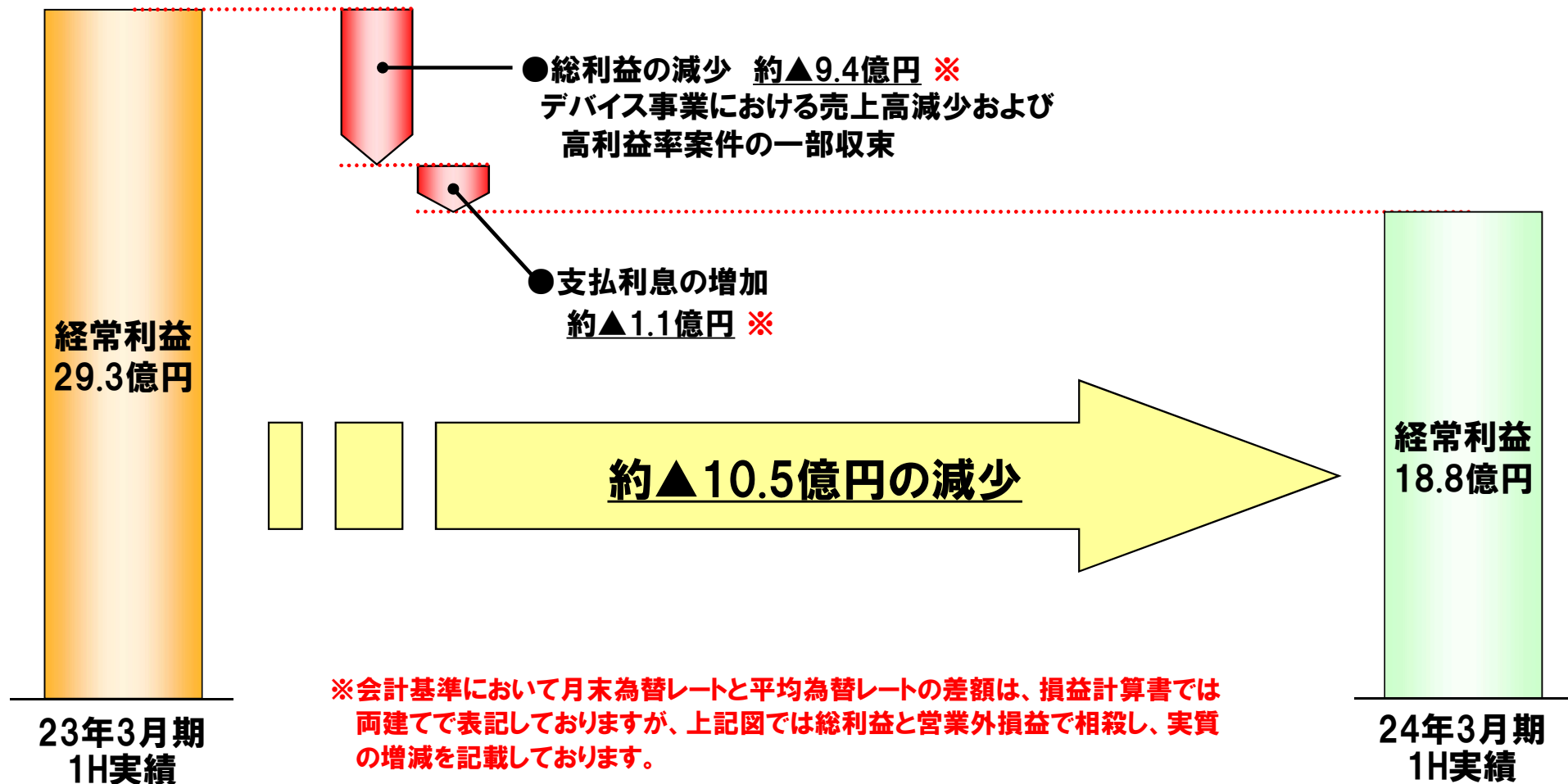
24年3月期第2四半期 連結業績概要（単位：億円）

■ 売上高は前年同期比で▲10%、損益面についても予想は上回るものの減益

	23年3月期 第2四半期 累計実績	24年3月期 第2四半期 累計実績	前年 同期比	予想 ※	予想比
売上高	829.9	743.1	90%	736.0	101%
売上総利益	11.0% 91.7	10.4% 77.3	84%	未公表	—
販管費	5.9% 49.2	6.6% 48.9	99%	未公表	—
営業利益	5.1% 42.5	3.8% 28.4	67%	2.3% 17.0	167%
経常利益	3.5% 29.3	2.5% 18.8	64%	1.7% 12.6	149%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2.6% 21.6	1.7% 12.9	60%	1.3% 9.3	139%
1株当たり中間配当金	30円	35円	+5円	35円	±0円
換算レート（1米ドル）	¥133.98	¥141.00	¥7.02	未公表	—

※2023年3月期決算短信(2023年5月11日)において公表した予想数値(2023年10月20日付の上方修正前)

24年3月期第2四半期 連結経常利益対前期比較

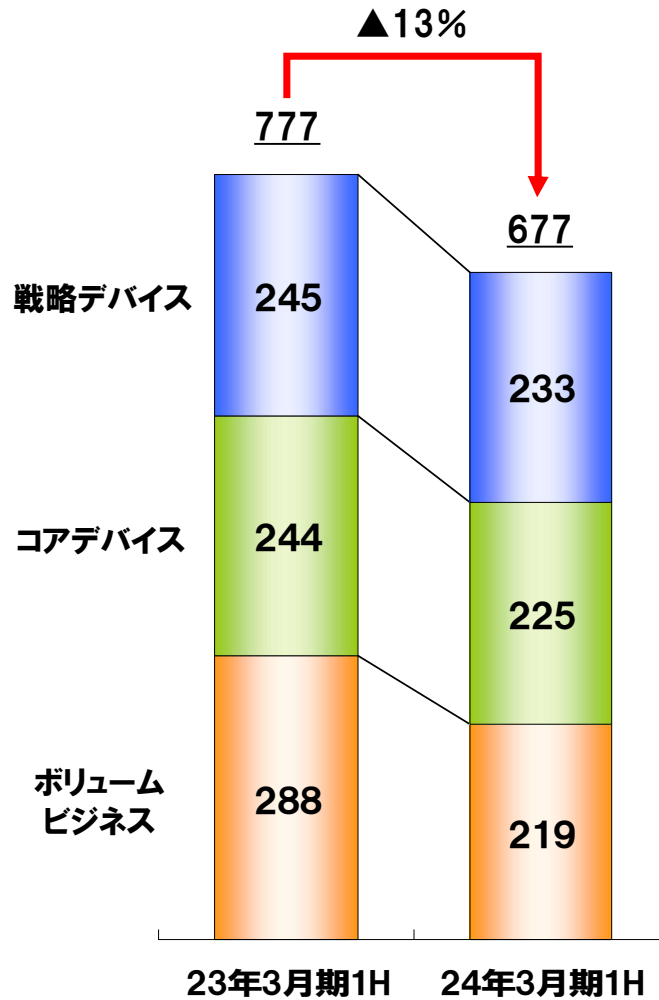


24年3月期第2四半期 セグメント別連結業績概要（単位：億円）

- デバイス事業
高利益率案件の一部剥落や営業外費用増加が損益面に影響
- ソリューション事業
企業向け情報通信ネットワーク関連を中心に総じて回復基調で推移

		23年3月期 第2四半期 累計実績	24年3月期 第2四半期 累計実績	前年 同期比
デバイス 事業	売上高	777.5	676.9	87%
	営業利益	5.7% 44.4	4.0% 26.9	61%
	セグメント利益	3.4% 26.6	2.0% 13.2	50%
ソリューション 事業	売上高	52.4	66.2	126%
	営業利益	8.6% 4.5	11.0% 7.3	162%
	セグメント利益	5.3% 2.8	8.5% 5.6	200%
換算レート（1米ドル）		¥133.98	¥141.00	¥7.02

24年3月期第2四半期 連結売上高対前年同期比較（単位：億円）

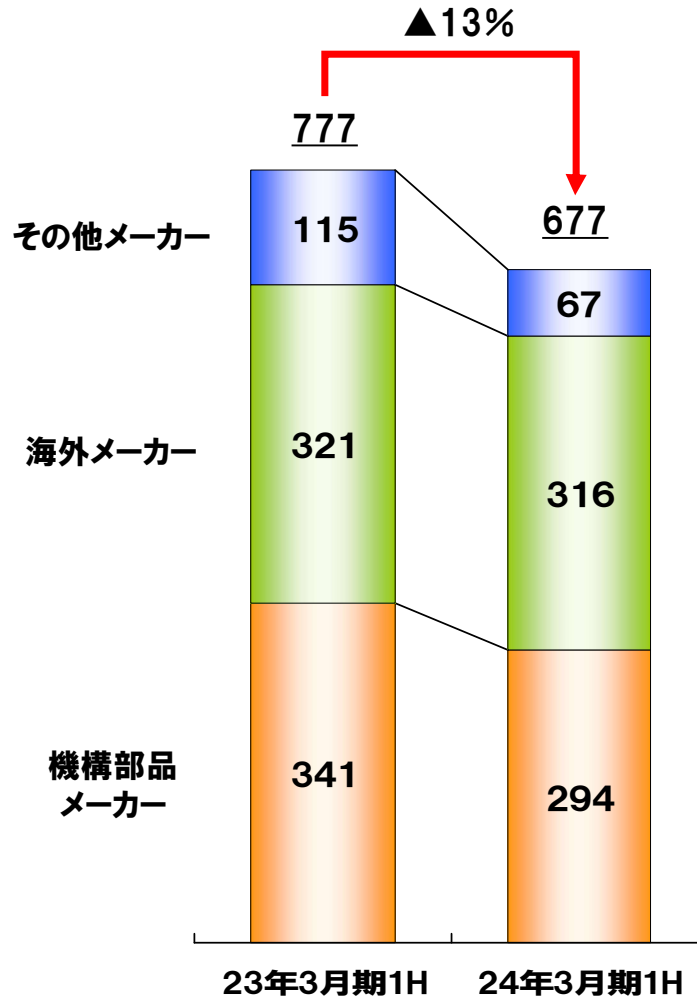


デバイス事業ビジネス別

【前年同期比増減内容】

- ボリュームビジネス（前年同期比 ▲24%）
 - モバイル向けが減少
 - 社会インフラ向けも減少
- コアデバイス（前年同期比 ▲8%）
 - 産業/車載/ストレージ向け等が減少
- 戦略デバイス（前年同期比 ▲5%）
 - 無線/アナログ半導体等が減少
 - モジュール製品も減少

24年3月期第2四半期 連結売上高対前年同期比較（単位：億円）

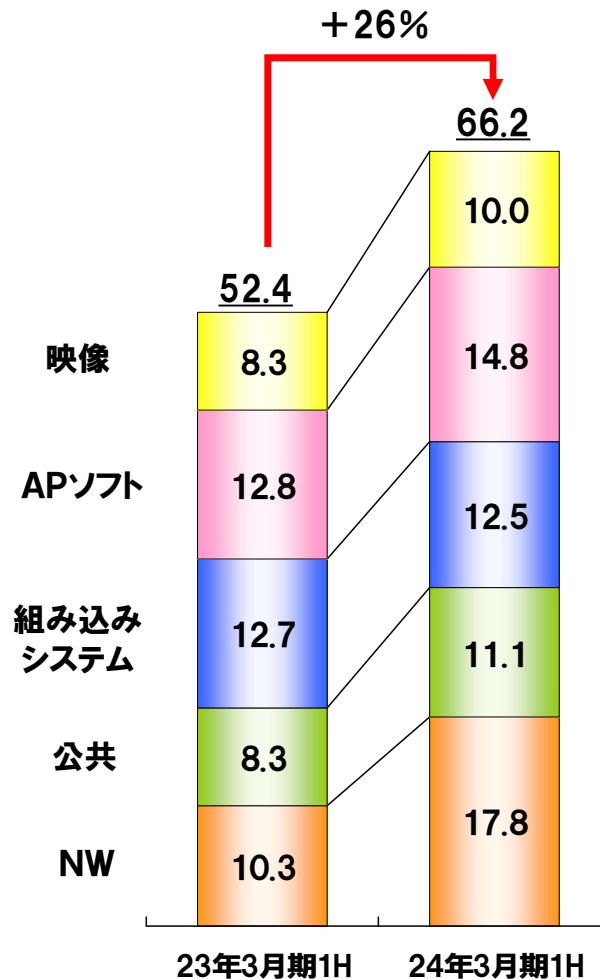


デバイス事業仕入先別

【前年同期比増減内容】

- 機構部品メーカー（前年同期比 ▲14%）
 - モバイル向けが減少
- 海外メーカー（前年同期比 ▲2%）
 - 無線/アナログ半導体等が減少
 - モジュール製品も減少
- その他メーカー（前年同期比 ▲42%）
 - 社会インフラ向けは減少

24年3月期第2四半期 連結売上高対前年同期比較（単位：億円）



ソリューション事業分野別

【前年同期比増減内容】

- **NW**（前年同期比 +73%）
○大手、中堅NW案件好調により増加
- **公共**（前年同期比 +34%）
○公共PC入札案件が増加
- **組み込みシステム**（前年同期比 ▲2%）
●前期前倒し案件の影響で微減
- **APソフト**（前年同期比 +16%）
○ソフト開発案件好調により増加
- **映像**（前年同期比 +20%）
○映像伝送装置案件が好調

24年3月期第2四半期 連結財務状況（単位：億円）

- 23年9月末実績は総資産899億円と前期末比+113億円、売上債権、棚卸資産の増加が主な要因
- 純資産の増加は利益に加え円安により為替換算調整額が増加したことによるもの
- 自己資本比率は前期末比低下するも(前期比▲2.8P)40%を維持
- 売上債権、棚卸資産の増加による営業CFのマイナス(▲51億円)は銀行借入、手元現預金の取崩しで対応

①貸借対照表

	22年3月末 実績 A	23年3月末 実績 B	B-A 増減	23年9月末 実績 C	C-B 増減
現預金	93.1	88.9	△ 4.1	69.9	△ 19.0
売掛債権	358.7	372.6	14.0	454.8	82.2
棚卸資産	197.3	250.0	52.7	275.5	25.4
その他資産	79.0	74.4	△ 4.6	99.2	24.8
資産合計	728.1	786.0	57.9	899.4	113.4
買掛債務	144.6	138.6	△ 6.0	169.6	31.0
有利子負債	244.3	268.3	24.0	326.0	57.7
その他負債	32.4	36.6	4.2	38.5	1.9
純資産合計	306.8	342.5	35.7	367.3	24.8
負債・純資産合計	728.1	786.0	57.9	899.4	113.4
自己資本比率	42.1%	43.6%	1.5%	40.8%	▲2.8P
期末換算レート		@133.54		@149.58	

②キャッシュフロー計算書

	22年3月期 実績	23年3月期 実績	24年3月期 1H実績
売上債権の減少 (△は増加)	△ 0.1	7.9	△ 46.9
棚卸資産の減少 (△は増加)	△ 45.6	△ 44.7	△ 10.9
仕入債務の増加 (△は減少)	2.3	△ 16.9	14.7
その他	65.3	46.0	△ 7.4
営業C/F	21.9	△ 7.8	△ 50.5
投資C/F	△ 1.5	△ 0.5	0.5
財務C/F	△ 185.9	2.6	28.4
換算差額	3.1	1.5	2.6
現預金の増減額	△ 162.4	△ 4.1	△ 19.0
現預金の期末残高	93.1	88.9	69.9

II. V73中期経営計画の進捗状況

1. 事業構造改革による収益性向上と成長市場での事業拡大

- デバイス事業……既存事業の拡大と収益性の改善、新しい収益基盤の確立(事業ポートフォリオ改革)
- ソリューション事業…サービス提供型ビジネスの拡大、デジタル技術の拡充、顧客基盤の拡大

2. 資本効率の向上

- 連結配当性向50%を目途とした配当の継続、総資産の圧縮などによる資本効率の向上
- 財務の健全性の維持と資金調達の機動性・安定性の確保

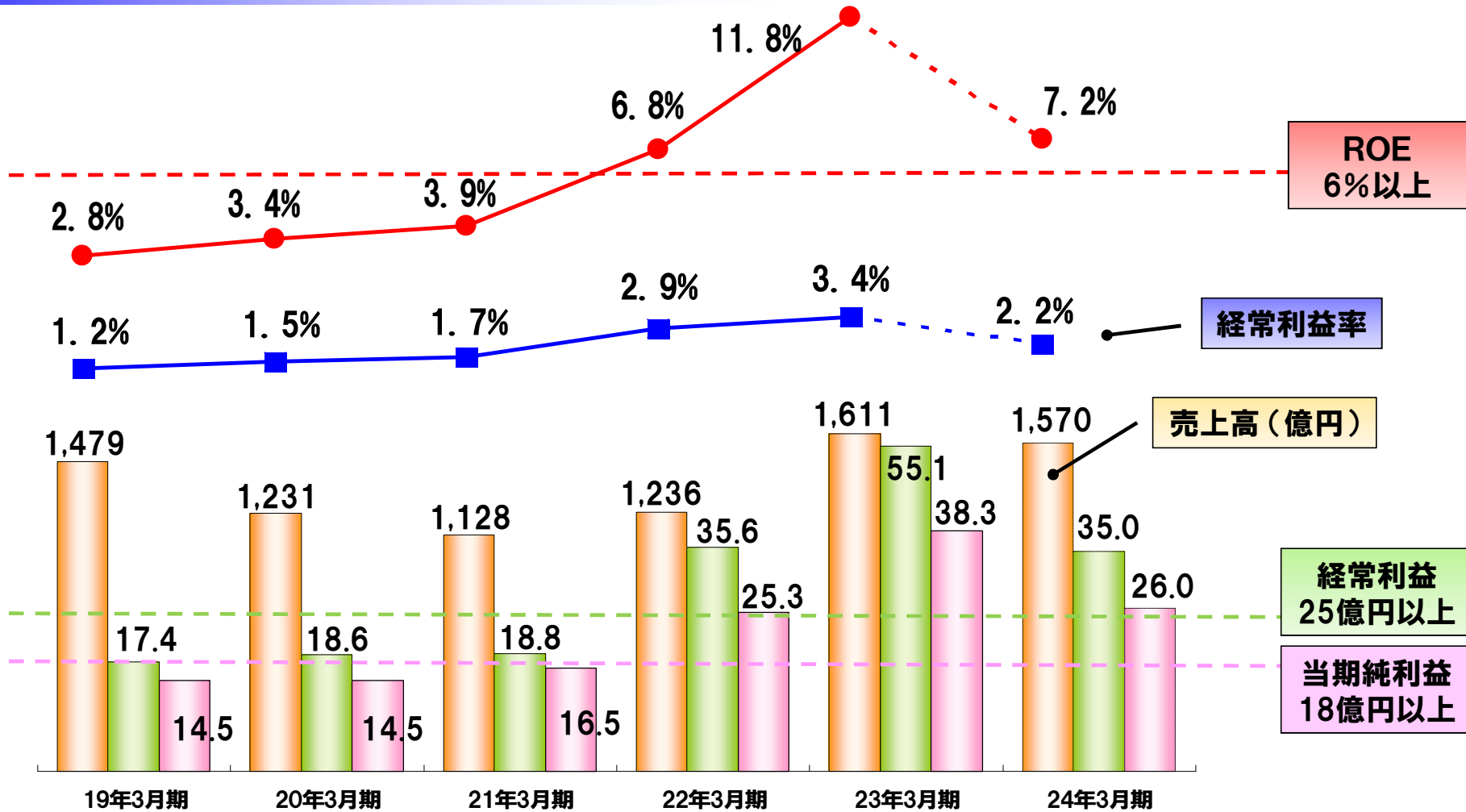
3. コーポレート・ガバナンスの強化

- サステナビリティをめぐる課題への取り組み強化、中期経営計画の施策実行にあたり取締役会の機能強化



V73最終年度 定量目標 (2024年3月期)	ROE	V73期間中における 6%以上の維持
	経常利益	25億円以上
	親会社株主に帰属する当期純利益	18億円以上

V73中期経営計画概要（定量目標）



V73中期経営計画 重点施策の進捗一覧

	中期経営計画施策	取り組み内容	目指す効果および進捗状況
デバイス事業	既存事業の拡大と収益性の改善	<ul style="list-style-type: none"> ①リソースを海外半導体にシフト ②既存仕入先商材による新規顧客の獲得 ③顧客(特に大手)及びビジネス別に組織を再編、拡販効率を改善 ④営業活動効率化の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・営業支援システムの改善/新規導入、運用体制整備 	<p>【目指す効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外半導体メーカーの売上高増加 ・売上高セグメント利益率の向上 <p>【進捗状況】 ◎</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外半導体メーカーの売上高拡大 219億円(21/3期)⇒618億円(24/3期見込み) ・営業活動効率化に向け、部品管理/新商談システム稼働開始、予算システム開発中
	新しい収益基盤の確立(ポートフォリオ改革)	<ul style="list-style-type: none"> ①トータルソリューションの提供に注力(AI/IoT、ロボテックス) ②AI/IoT関連 <ul style="list-style-type: none"> ・ため池、河川監視ソリューション+αで自治体アプローチ強化 ③ロボティクス分野 <ul style="list-style-type: none"> ・協業パートナーとの連携および部門間連携を強化し新規開拓に注力 ④車載分野 <ul style="list-style-type: none"> ・無線モジュール、セキュリティ商材を含めた提案型ソフトウェアをキーに既存組織(自動車部)で新たな戦略を策定 	<p>【目指す効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新市場(非エレクトロニクス含む)顧客の開拓 ・高収益率ビジネス獲得 ・売上高セグメント利益率の向上 <p>【進捗状況】 ○</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治体向けため池ソリューションで受注拡大鳥取県と契約決定 ・ロボティクス分野の収益性向上を目指しコンサルとの契約を締結し協業開始

V73中期経営計画 重点施策の進捗一覧

中期経営計画施策		取り組み内容	目指す効果および進捗状況
ソリューション事業	サービス提供型ビジネスの拡大	<ul style="list-style-type: none"> ①メガクラウド(AWS、MS Azure等)基盤を活用したサービス提供モデルの確立 ②三信データセンタビジネスの拡大 (ホスティング+運用保守、クラウド接続サービス) ③汎用クラウドサービスの拡充 (クラウドバックアップ、クラウドセキュリティ等サービス拡充) ④サービスメニュー整備によるサブスクビジネス拡大 	<p>【目指す効果】 安定的なストック収益確保、拡大</p> <p>【進捗状況】 ▲ 顧客環境に最適なSaaSサービス提供を提案、パートナーベンダー連携により受注拡大を目指す。三信データセンターの稼働率維持、原価低減により安定収益化を図る</p>
	デジタル技術の拡充	<ul style="list-style-type: none"> ①セキュリティ技術進化への対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ゼロトラスト思考ベースのセキュリティモデル提案実施 ・SASE技術への対応強化 ②新たなインフラ技術の修得 (SD-WAN、WiFi6、5G、プライベートLTE等) 	<p>【目指す効果】 ソリューション事業の売上拡大</p> <p>【進捗状況】 ◎ 先端技術(SASE、5G)を活用した提案活動拡大</p>
	顧客基盤の拡大	<ul style="list-style-type: none"> ①外部コンサルと連携し新商材発掘、ドアノックツール拡大 ②パートナー連携による顧客拡大 ③本部内横断によるクロスセル推進 ④モバイル中継装置等既存商材の新市場開拓 ⑤DX需要の取り込み 	<p>【目指す効果】 事業領域の拡大と新たな収益源泉の発掘</p> <p>【進捗状況】 ○ 新規仕入先との契約拡大、SDGsへの取り組み開始で来期以降の収益寄与を目指す プリセールス強化によるクロスセル推進等、事業横断での新規拡大を推進中</p>

V73中期経営計画 重点施策の進捗一覧

中期経営計画施策	取り組み内容	目指す効果および進捗状況
<p>資本効率の向上</p>	<p>①自己資本の規模を適正化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の資金需要を踏まえ、700万株(当時の発行済みに対する28.83%相当)、157億円の自己株TOBを実施(2021年6月) ・連結配当性向50%を目途とする配当方針の継続 <p>②財務の健全性維持</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取引条件の改善 ・大口債権の流動化 ・政策保有株式の縮減 <p>V73期間において、9銘柄を縮減(純投資へ振替えた1銘柄含む)</p> <p>③資金調達の機動性・安定性の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミットメントライン契約の締結(2021年8月31日～) 	<p>【目指す効果】 株主資本コストを上回るROEの維持</p> <p>【進捗状況】 ◎</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己資本の規模を適正化した結果、V73期間中のROEは株主資本コスト5～6%台(当社想定)を上回る水準で推移見込み。 ・23年9月末時点の自己資本比率40.8%。取引継続に必要な財務体質の健全性維持を目指す。

V73中期経営計画 重点施策の進捗一覽

中期経営計画施策	取り組み内容	目指す効果および進捗状況												
<p>コーポレート・ガバナンスの強化</p>	<p>①サステナビリティ(SDGS、ESG)を巡る課題への取り組み</p> <p>a)人的資本の充実と価値最大化 2031年3月末時点における管理職比率目標に向けた取り組み強化</p> <table border="1" data-bbox="392 614 1198 842"> <thead> <tr> <th></th> <th>女性</th> <th>外国人</th> <th>中途採用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2023/3実績</td> <td>5.5%</td> <td>11.0%</td> <td>36.0%</td> </tr> <tr> <td>2031/3目標</td> <td>10%</td> <td>10%以上維持</td> <td>30%以上維持</td> </tr> </tbody> </table>		女性	外国人	中途採用	2023/3実績	5.5%	11.0%	36.0%	2031/3目標	10%	10%以上維持	30%以上維持	<p>【目指す効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な成長に向けた経営基盤の確立 ・ステークホルダーに対する説明責任の強化 <p>【進捗状況】 ○</p> <p><人的資本の充実と価値最大化></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新卒、中途採用継続と能力開発やキャリアアップの支援拡充に向けた研修プログラムの充実(Udemy等) ・公平な処遇、競争力のある給与水準維持に向けた報酬制度の改定、ベースアップの実施 <p><気候変動問題への取り組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・カーボンニュートラルに向けた市場ニーズの取り込みを強化 ⇒車載向け拡販、サービス提供型ビジネス(クラウド)の推進 ・TCFDに沿った開示、GHG排出量削減目標設定 <p><取締役会の機能強化></p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要なスキルの特定とその保有状況の点検 ⇒取締役会全体として必要なスキルを保有 ・女性取締役を登用し、女性活躍の推進に向けた取り組みを加速(2023年6月～)
		女性	外国人	中途採用										
2023/3実績	5.5%	11.0%	36.0%											
2031/3目標	10%	10%以上維持	30%以上維持											
<p>b)気候変動問題に対する対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・抽出したリスク／機会の経営戦略への反映 ・TCFDに沿った開示 <p>②取締役会の機能強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要事項の的確な意思決定および業務執行の監督に必要なスキルバランスの確保 														

Ⅲ. 2024年3月期業績予想

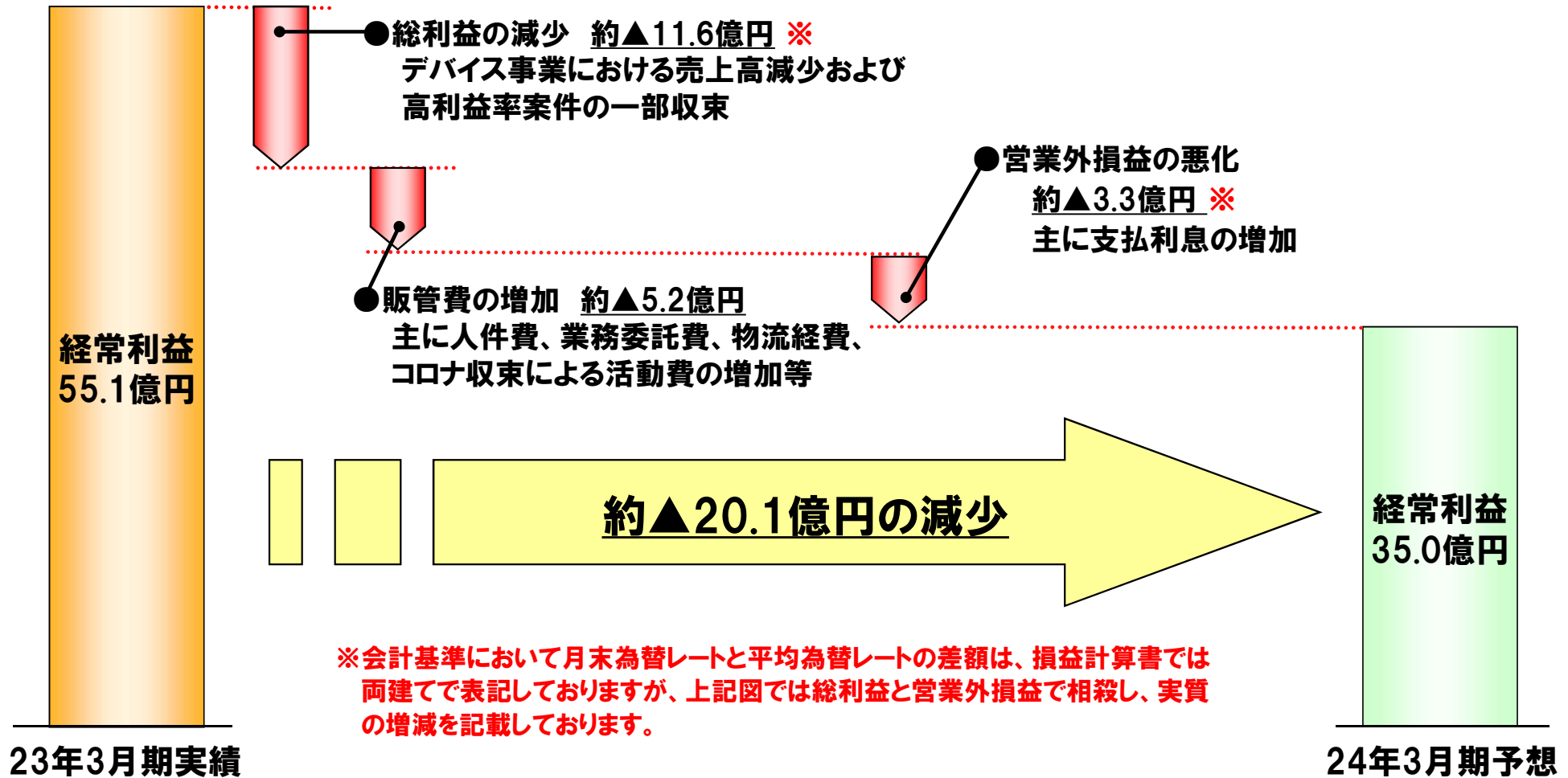
24年3月期 連結業績予想（単位：億円）

■ 売上高は前期比並みを見込むも、利益面では減益の見通し

	19年3月期 実績	20年3月期 実績	21年3月期 実績	22年3月期 実績	23年3月期 実績	24年3月期 予想	前期比	
売上高	1,478.8	1,230.9	1,127.9	1,235.8	1,611.1	1,570.0	97%	
売上総利益	7.7% 114.1	9.1% 112.3	9.8% 110.5	10.9% 135.3	10.5% 168.8	9.5% 149.5	89%	
販管費	6.4% 94.4	7.5% 92.7	7.9% 88.8	7.5% 93.2	6.2% 100.3	6.7% 105.5	105%	
営業利益	1.3% 19.7	1.6% 19.6	1.9% 21.7	3.4% 42.1	4.3% 68.5	2.8% 44.0	64%	
経常利益	1.2% 17.4	1.5% 18.6	1.7% 18.8	2.9% 35.6	3.4% 55.1	2.2% 35.0	64%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	1.0% 14.5	1.2% 14.5	1.5% 16.5	2.0% 25.3	2.4% 38.3	1.7% 26.0	68%	
自己資本当期純利益率 (ROE)	2.8%	3.4%	3.9%	6.8%	11.8%	7.2%	▲4.6P	
1株当たり 年間配当金	普通配当	70円	70円	40円	80円	135円	100円	▲35円
	記念配当	—	—	—	20円	—	—	—
	合計	70円	70円	40円	100円	135円	100円	▲35円
配当性向	93.3%	93.2%	46.9%	48.8%	43.5%	47.5%	+4.0P	
換算レート（1米ドル）	¥110.91	¥108.74	¥106.06	¥112.38	¥135.49	¥140.00	¥4.51	

※ROE、1株当たり年間配当金、配当性向、換算レートの前期比は、増減を記載

24年3月期 連結経常利益対前期比較

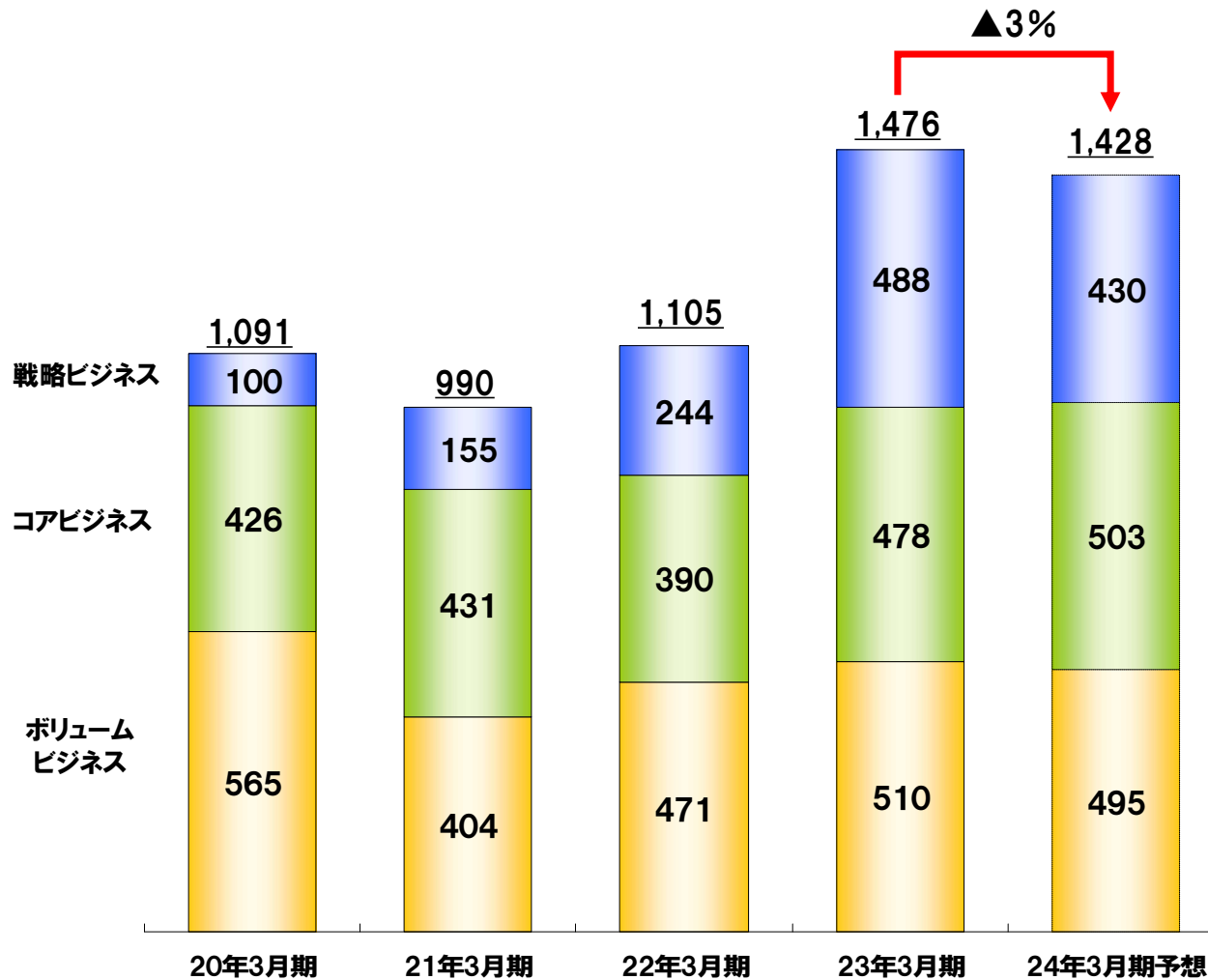


24年3月期 セグメント別連結業績予想（単位:億円）

- デバイス事業は売上高は前期比▲3%の減少、セグメント損益は売上高の減少および高利益率案件の一部剥落に伴い減益の見通し
- ソリューション事業は売上高は前期比5%の増加、セグメント損益は売上高の増加により増益の見通し

		19年3月期 実績	20年3月期 実績	21年3月期 実績	22年3月期 実績	23年3月期 実績	24年3月期 予想	前期比
デバイス 事業	売上高	1,332.8	1,090.8	989.9	1,105.2	1,475.8	1,428.0	97%
	営業利益	1.3% 17.1	1.4% 15.3	1.6% 15.7	3.6% 40.1	4.4% 65.5	2.7% 38.8	59%
	セグメント利益	0.3% 4.7	0.4% 4.2	0.2% 1.7	2.0% 21.9	2.8% 41.4	1.4% 20.0	48%
ソリューション 事業	売上高	146.0	140.1	138.0	130.6	135.3	142.0	105%
	営業利益	11.3% 16.5	13.2% 18.4	15.2% 21.0	14.0% 18.3	13.2% 17.9	13.6% 19.3	108%
	セグメント利益	8.7% 12.7	10.3% 14.4	12.4% 17.1	10.5% 13.7	10.1% 13.7	10.6% 15.0	109%
換算レート（1米ドル）		¥110.91	¥108.74	¥106.06	¥112.38	¥135.49	¥140.00	¥4.51

24年3月期 連結売上高対前期比較（単位：億円）

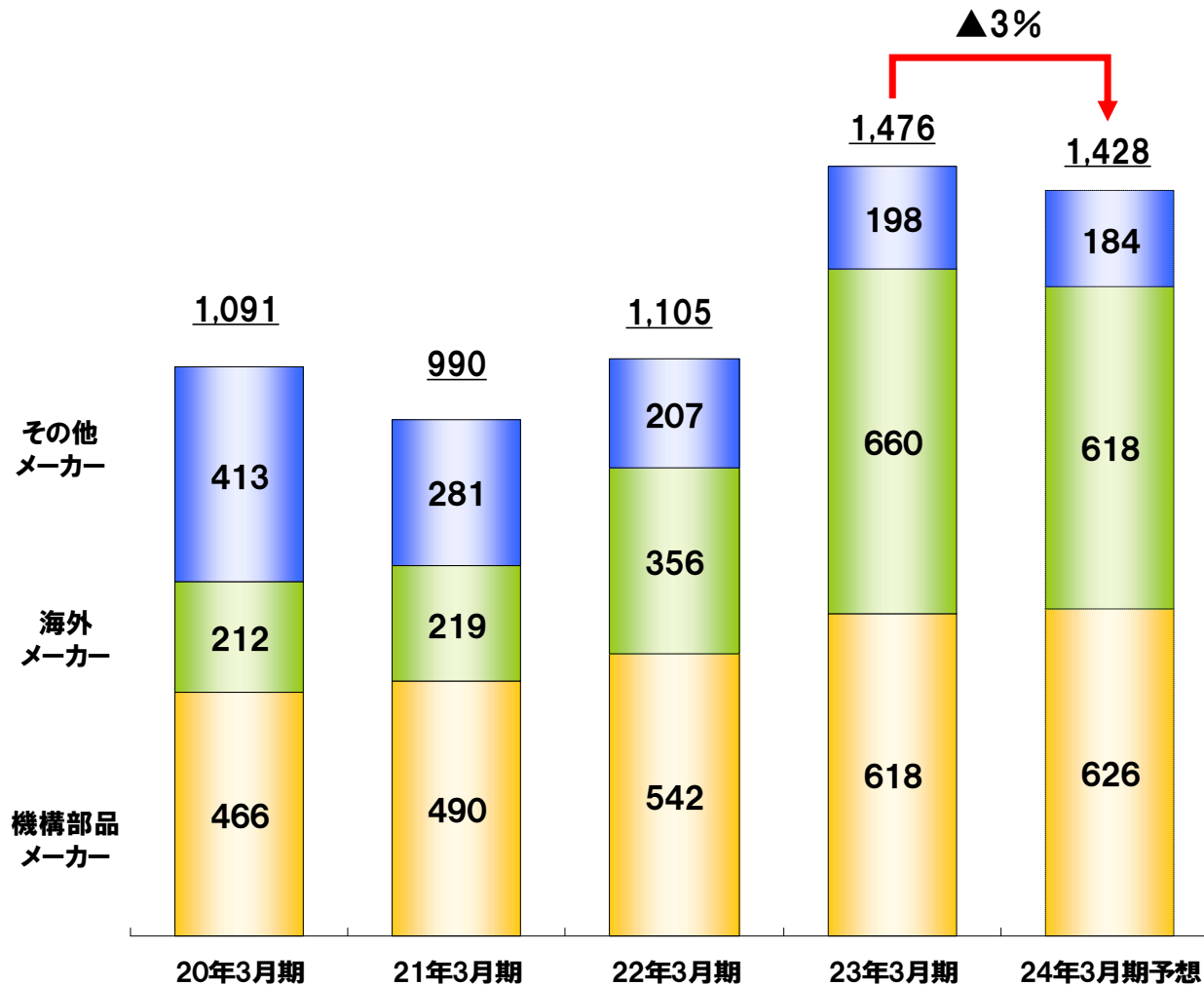


デバイス事業ビジネス別

【前期比増減内容】

- ボリュームビジネス（前期比 ▲3%）
 - モバイル向けが減少
 - 社会インフラ向けは横ばい
- コアデバイス（前期比 +5%）
 - 産業/車載/ストレージ向け等は回復基調
- 戦略デバイス（前期比 ▲12%）
 - 無線/アナログ半導体等の海外商材が減少
 - モジュール製品も減少

24年3月期 連結売上高対前期比較（単位：億円）

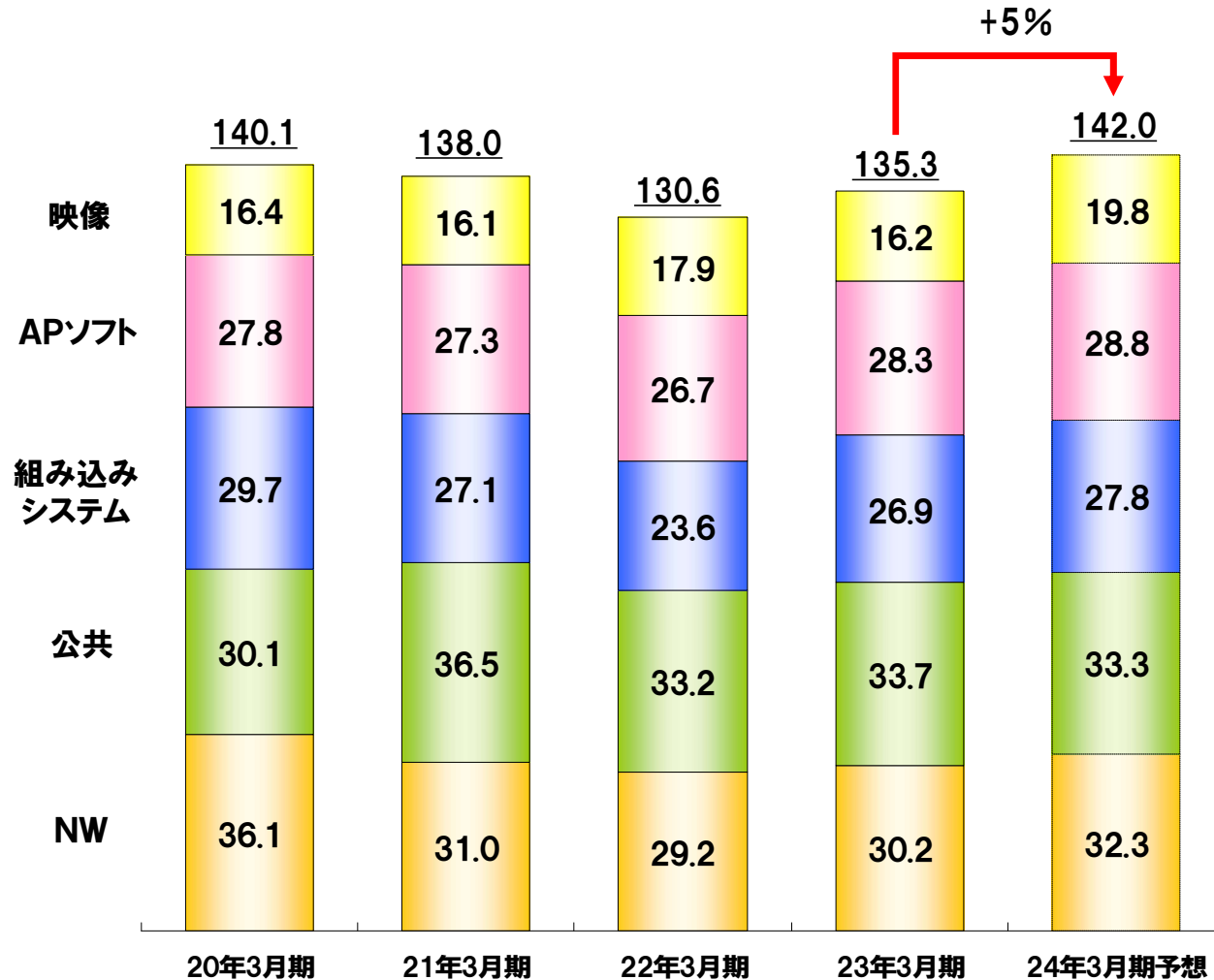


デバイス事業仕入先別

【前期比増減内容】

- 機構部品メーカー（前期比 +1%）
 - 大手顧客シェア拡大
 - モバイル向けは減少
- 海外メーカー（前期比 ▲6%）
 - 無線/アナログ半導体等が減少
 - モジュール製品も減少
- その他メーカー（前期比 ▲7%）
 - 生産台数減少等により販売代行Bizが減少
 - 社会インフラは横ばい

24年3月期 連結売上高対前期比較（単位：億円）



ソリューション事業分野別

【前期比増減内容】

- NW（前期比 +22%）
 - 民間企業ITインフラ設備投資の増加
- 公共（前期比 ▲1%）
 - 防災デジタル更新案件が微減
- 組み込みシステム（前期比 +3%）
 - サーバ関連等の需要回復
- APソフト（前期比 +2%）
 - ソフト開発案件横ばい
- 映像（前期比 +22%）
 - 映像伝送装置案件が好調

24年3月期 連結財務状況（単位:億円） ※予算ベース

- 24年3月末見込は総資産824億円と前期末比+38億円、売掛債権の増加が主な要因
- 自己資本比率は45.0%と前期末同水準を維持する見込み(前期比+1.4P)
- 営業CFは債権流動化により12億円のプラス、手元現預金は前期末並みの90億円を見込む
- 取引金融機関と総額60億円のコミットメントライン契約を継続

①貸借対照表

	22年3月末 実績 A	23年3月末 実績 B	B-A 増減	24年3月末 予想 C	C-B 増減
現預金	93.1	88.9	△ 4.1	90.0	1.1
売掛債権	358.7	372.7	14.0	405.6	32.9
棚卸資産	197.3	250.0	52.7	255.1	5.1
その他資産	79.0	74.4	△ 4.6	73.0	△ 1.4
資産合計	728.1	786.0	57.9	823.7	37.7
買掛債務	144.6	138.6	△ 6.0	143.9	5.3
有利子負債	244.3	268.3	24.0	270.7	2.4
その他負債	32.4	36.6	4.2	38.0	1.4
純資産合計	306.8	342.5	35.7	371.1	28.6
負債・純資産合計	728.1	786.0	57.9	823.7	37.7
自己資本比率	42.1%	43.6%	1.5%	45.0%	1.4P

②キャッシュフロー計算書

	22年3月期 実績	23年3月期 予想	24年3月期 予想
売上債権の減少 (△は増加)	△ 0.1	7.9	△ 32.9
棚卸資産の減少 (△は増加)	△ 45.6	△ 44.7	△ 5.1
仕入債務の増加 (△は減少)	2.3	△ 17.0	5.3
その他	65.3	46.0	44.4
営業C/F	21.9	△ 7.8	11.8
投資C/F	△ 1.5	△ 0.5	
財務C/F	△ 185.8	2.6	△ 10.7
換算差額	3.1	1.5	
現預金の増減額	△ 162.4	△ 4.1	1.1
現預金の期末残高	93.1	88.9	90.0

●利益配分に関する方針

当社は、株主の皆様へ利益を還元していくことを重要な経営課題の一つとして位置づけております。配当につきましては、連結配当性向50%を目処とし、株主の皆様への利益還元、成長機会獲得のための投資、持続的な成長を可能とする内部留保、資本効率の向上、これらのバランスを考慮して決定することを基本方針としております。

●24年3月期 配当予想

1株当たり年間配当金 100円(中間配当:35円、期末配当:65円)、連結配当性向 47.5%

		19年3月期 実績	20年3月期 実績	21年3月期 実績	22年3月期 実績	23年3月期 実績	24年3月期 予想	前期比
1株当たり 年間配当金	普通配当	70円	70円	40円	80円	135円	100円	▲35円
	記念配当	—	—	—	20円	—	—	—
	合計	70円	70円	40円	100円	135円	100円	▲35円
配当性向		93.3%	93.2%	46.9%	48.8%	43.5%	47.5%	+4.0P

※前期比は増減額を記載

株主還元推移

	19年3月期 実績	20年3月期 実績	21年3月期 実績	22年3月期 実績	23年3月期 実績	24年3月期 予想
①連結当期純利益	1,449百万円	1,451百万円	1,646百万円	2,525百万円	3,833百万円	2,600百万円
②包括利益	1,585百万円	666百万円	2,393百万円	4,204百万円	4,788百万円	—
③連結自己資本比率	48.3%	57.0%	51.0%	42.1%	43.5%	45.1%
④配当総額 (1株当り配当)	1,352百万円 (70円)	1,352百万円 (70円)	773百万円 (40円)	1,232百万円 (100円)	1,666百万円 (135円)	1,235百万円 (100円)
⑤連結配当性向	93.3%	93.2%	46.9%	48.8%	43.5%	47.5%
⑥自己株式取得総額 (取得株式数)	197.2億円 (900万株)	—	—	157.4億円 (700万株)	—	未定
⑦総還元性向(④+⑥)÷①	1,454.2%	93.2%	46.9%	672.3%	43.5%	未定
⑧自己株式消却	5,000千株	—	—	8,000千株	—	未定
⑨期末発行済株式総数 (自己株式除く)	24,281千株 (19,178千株)	24,281千株 (19,180千株)	24,281千株 (19,183千株)	16,281千株 (12,183千株)	16,281千株 (12,192千株)	未定
⑩1株当たり当期純利益	67.48円	75.66円	85.82円	171.12円	314.43円	213.25円
⑪1株当たり純資産	2,224.47円	2,188.84円	2,249.40円	2,514.04円	2,803.65円	2,881.29円

※1)配当総額には、取締役(社外取締役を除く)を対象とする業績連動型株式報酬制度に係る信託が保有する株式に対する配当額も含まれます。

また、22年3月期実績には1株当り20円の記念配当を含んでおります。

2)1株当り当期純利益は期中平均発行済株式数(自己株式除く)で算出しております。

3)1株当り純資産は期末発行済株式総数(自己株式除く)で算出しております。

4)24年3月期予想における1株当り当期純利益、1株当り純資産は23年3月末発行済み株式総数(自己株式除く)で算出しております。



信用

商売は信用がなければ
成り立たない。信用に
始まって信用に終わる。



信念

利を追うだけでなく、
信念に基づいて行動
する。その信念は自己
研鑽の結果身につく
ものである。



信実

すべてのことに真心を
もってあたる。課題には
正攻法で立ち向かう。